

特集

# 丁寧・本物がある暮らし

9月1日、本市の特産品をPRする新たな動画、「枕JAZZ」の全篇が公開されました。「丁寧な暮らしには、心地よい音がある。」をキャッチフレーズに、日常にあるさまざまな音とJAZZが軽快な音色を奏でました。「丁寧な暮らしには、心地よい音がある。」をキャッチフレーズに、日常にあるさまざまな音とJAZZが軽快な音色を奏でました。今回の特集は、私たちの身近にある丁寧・本物に関する特集です。



## 丁寧な暮らしには、心地よい音がある。

### 枕崎の、丁寧・本物

新型コロナウイルス感染症が国内で初確認されてから約1年9カ月、私たちの生活は大きく変わりました。マスクの着用や人と人との距離の確保、不要不急の外出の自粛など、これまでの当たり前が当たり前でなくなりました。しかし、そのようなコロナ禍だからこそ見えてきたこともあります。それは、私たちのまちは丁寧・本物の特産品があるということ。生産量日本一の鰹節、生産者が手間暇かけて栽培・収穫したお茶や菊、職人の手によって作り出される包丁や鰹節削り器など、自宅で過ごす時間が多くなり、行動範囲が狭くなった中で、改めて地元の特産品に目を向け、その良さに触れる機会が多くなりました。

### 丁寧・本物をJAZZにのせて

「丁寧」という言葉は、昔、中国の軍隊で警戒や注意を促すために使われていた楽器「丁寧」に由来しているとされています。そこから注意深くすることを「丁寧」と言うようになり、現在では、細かいところまで注意が行き届いていることや、礼儀正しく手厚いことも意味するようになりました。そのような語源をヒントに、丁寧・本物の特産品を音楽と融合させ、全国にPRしようと「枕JAZZ」は制作されました。今回のPR動画では、「ASMR」という聴覚に訴えかける手法を導入したほか、鹿児島県にゆかりのあるアーティストがJAZZを演奏し、電照菊ハウスの一斉点灯も行われるなど、多くの注目を集めました。

### 職人にしか分からない音

「生活の中にある音とJAZZがうまく融合していた」と話すのは、株式会社金七商店の瀬崎祐介さん。枕JAZZの水産篇に出演し、職人の目線から制作に携わりました。「鰹を切る音や鰹節を削る音など、職人にしか分からない音がある。そして、鰹節の出来の良し悪しを判断する際にも音を聞く。音はとても大事なもので、妥協はできなかった」と今回の作品へのこだわりを振り返ります。



株式会社金七商店  
瀬崎 祐介さん

今回の枕JAZZの動画を通して、改めて音で伝えることの効果や魅力に気付いたと話す瀬崎さん。「作り手自らが映像を発信できる今の時代、情報発信のあり方が変わってきている。自分の曲げられないこと、こだわりを持ちつつも、その先の消費者のことを考えながら、丁寧・本物の商品を作り、これからの情報を発信し続けていきたい」と話します。

# 枕崎



## 枕 JAZZ 特設サイト

水産篇、農産篇、匠の技篇、総集篇の4つの動画や枕崎ブランドの特産品が購入できるサイトなど、枕JAZZの全てがここに掲載されています。

**水産品コーナー**

本場の本物の枕崎鰹節や枕崎ぶえん鰹などの水産品を紹介しています。

**農産物コーナー**

紅茶や枕崎牛など、動画では紹介されていない農産物も紹介しています。

**匠の技コーナー**

樽貯蔵の焼酎や包丁など、枕崎の誇る職人が手掛けた商品を紹介しています。



### <総集篇>



水産篇、農産篇、匠の技篇を一つにまとめた総集篇。枕崎の「丁寧・本物」を全て見るができます。



### <匠の技篇>



刃物職人や焼酎樽職人の匠の技を撮影。新たな枕崎の魅力を発見できる作品です。



### <農産篇>



お茶と電照菊をテーマに撮影。お茶の製造工程と一斉点灯された電照菊ハウスの映像に注目です。



### <水産篇>



鰹を切る音や燻す時の音、鰹節を削る音、出汁を注ぐ音がJAZZの音楽と融合します。

